



# 法人よつば たより

No.26

発行：社会福祉法人よつば ☎04-7199-7931  
 発行日：2024年 1月 1日  
 ホームページ：<http://www.kashiwa-yotsuba.jp>

## ☆ご案内

・親亡き後に備える、成年後見制度の学びを、三月九日(土曜)午後一時半から、アミューゼ柏ホールで開催します。

法人よつば主催の啓発講演会として、柏市社会福祉協議会の加藤昇氏を講師に迎えて、「親亡き後の生活と成年後見制度」というテーマで講演会を開催します。パワーポイントを用いて分かりやすく説明して下さいますので、どうぞお出かけください。問い合わせは、法人事務局まで。

・二月二十四日(土曜)には、「私たちの脳の機能障害とは何か？」と題して、流山市初石公民館ホールで開催します。

講師は、ひだクリニックの肥田裕久先生(精神科医)です。サブテーマとして、「精神障害と発達障害の特性の共通点と相違点」です。障害名として、それぞれに分けられていますが、脳の機能障害として、共通している観点からのお話です。ご家族も福祉サービスの支援員も歓迎します。

## ☆障害者の体験や思い

・柏市在住 AQさん



私はまだ引きこもりの状態から十分に抜け出せたとはいえませんが、以前の状態からすれば、少しずつ外出の機会も増えつつある状況です。十代の終わりに、引きこもりが始まりました。家族からも「何が原因なのか」としつつ聞く聞かれましたが、自分でもはっきりとした返答ができません。何とか高校は卒業できたものの、進学や就職への意欲が生まれませんでした。エネルギーが切れたという感じですが、人間関係とにかく疲れて、数か月が限界でした。

家族の勧めで、精神科を受診しましたが、「不安症」と言われました。しばらく服薬しましたがそのうち、通院もしなくなりました。家で何となく過ごし、時々買い物に出かけたり、映画を見るなどしていました。暇なためゲームにはまり、また家族と顔を合わせるのが嫌で、昼夜逆転が始まりました。最初は親ともめて口論になることもありましたが、次第に話さなくなっていました。そうしている間にあっという間に十年がたちました。自分でも全く無駄な時間だったと思います。何をしていた

のかすら、思い出せません。

さすがに焦る気持ちが増していたところに、家庭訪問をしてくれる人がいると家族に聞いて、「会うだけなら会っても良い」と家族に返事しました。最初は緊張しましたが、どうでも良いようなことや、世間話を続けました。「就職したら？」と言われるのではと警戒しましたが、全くそんな話は出ませんでした。時々一緒に散歩をしました、買い物に出かけるようになりました。散髪も付き合ってくれました。まだ一人で出かけるのには不安があります。人の目が気になるし、近所の人に会うのも嫌です。自分が病気なのかそうでないのかもよく分かりません。精神科にまた行くのには抵抗があります。

あまり人と関わらずにできる仕事があればやってみたいとは思いますが、お金がないので、親に頼まないとお金がなく、そんな自分が嫌で、小遣いぐらいは稼げたらと思っています。まだ二十代なので、何か出来ることはあるのかとしたり、同時に嫌な思いはしたくないとも考えています。変な話ですが、引きこもりの人は、結構多いと聞いて、何かほっとします。





☆家族の思いと願い



・柏市在住 ARさん

息子が発症したのは二十代の初め、今は五十歳になりました。この三十年間は、言葉に表しきれないほどに、本人も私たち夫婦も苦しみの中を通りました。子どもと一緒に死ぬことも考えましたし、子ども自身も自殺未遂をしたこともあり。今は、その当時から比べれば、随分と落ち着いてきました。「時間が薬」と聞いていましたが、その通りだと思えますし、副作用の少ない薬が出たことも良かったのでしょうか。

息子は大学を出て就職までは普通だったと思います。しかし本人の話では、学生時代から調子は悪かった、人間関係がストレスだったと話していますから、発症は数年前から始まっていたのだと思います。アパート生活だったため、学生時代の様子は分かりませんでした。就職して後に会社から、言動がおかしいので「病院で診察を受けては？」と連絡を受けました。その時初めて、息子の様子が変わったことに気が付いたのが、今でも悔やまれます。もっと早くに気づいていれば、病がひどくならず

に済んだかもしれないと思うからです。

発症してから仕事も辞めて、私たちのところに帰ってきました。それからが大変でした。統合失調症との病名でしたが、父親は受け入れきれず、息子を叱ってばかりいました。口論だけでなく、殴り合いになったことが何度もありました。親せきや友人や近所の人に知られることを、本人も私たちも避けて暮らしました。思い余って、市役所で家族会のことを聞き、参加するのが精一杯でした。振り返ると、あの頃は悔いいることと、誰にぶつけていいか分からない怒りと、理解しようとしないう夫への不満が、生きる励みでした。「何とかしたい」そう思って家族会や本も読み、息子を助けたい一心でした。

そうした私の願いが通じたのか、息子はデイケアに出席したのをはじめ、B型事業所に行くようになってきました。もともと頭のいい子でしたので、仕事を覚えるのも早く、職員の方にも感謝されました。今は障害者枠で服薬しながら一般就労をしています。夫も障害を受け入れ、息子に優しくなっ

きました。時間がかかりました。

☆発達障害者家族会の「定例会」のご案内です！

毎月定例会では、家族や本人も参加しての、交流会を中心にしており、それ以外にも、情報提供や日ごろの出来事からの質問を話し合っています。参加者は毎回十数名です。また当事者会は数名ですが、仕事のことや人間関係のことなどを分かち合っています。

※定期の集まりの紹介

- ・家族会 毎月第二土曜日朝十時から、初石公民館にて
- ・当事者会 毎月第四日曜日午後一時から、初石公民館にて
- ・問い合わせ 勝本まで

090-3696-1589

☆法人の事業案内



・多機能型事業所「生活介護・まいる沼南」場所は、柏市大津ヶ丘三丁目にあります。定員は十名で現在の利用者は一日七名平均です。外出プログラムや、人間関係や心身の健康の学びやゲームや調理などもプログラムに入っています。午後からは、工賃の伴う作業もしています。問い合わせは、青い鳥

○四・七一九九・八一九です。まず、見学をお願いします。

☆先人の言葉

ライオンホルト・ニーバーの祈りの言葉。

変えられないものを受け入れる心の平安と、変えられるものを變える勇気を、そしてその二つのものを見分ける賢さをお与えください。

客観的な状況は同じでも、それをポジティブに捉えるか、ネガティブに捉えるかで、その後の身体的健康に違いが出てくるということが、いろいろな形で実証されている。

哲学者、アランの言葉。悲観主義は気分だが、楽観主義は意志である。

柏部会の案内

日時 一月二十七日(土)

午後一時から

会場 パレット柏C会議室

流山部会の案内

日時 一月二十六日(金)

午前10時から

会場 初石公民館 講義室

